

取扱説明書

X2 SMOOTHER

MULTI GAUGE ø60

この度はPIVOT X2をお買い上げ頂きありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をお読み頂き、装着後も大切に保管してください。
なお、説明書の再発行は有償となります。

<p>警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ●製品は安全な場所へ確実に固定する 使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると運転操作が行えず大変危険です。 ●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。 ●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ●配線はテープなどで収納する 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。 	<p>注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用で、それ以外の電圧には装着できません。 ●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープによる製品固定は装着初期ははげやすくなっていますのでご注意ください。 ●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。 ●高温となる場所や水のかかる場所へ装着しない 故障の原因となります。 ●ネジ・部品は元の状態に戻す ●眩しく感じる場所へ装着しない ●加工・分解および改造をしない
---	--

1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。
2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。
3. 他のPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。
⇒ http://pivotjp.com/information/obd_conjunction.html

内容物をご確認ください



X2の特長

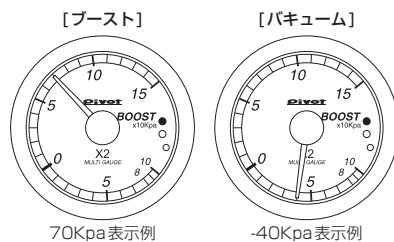
スムーズアクション	新制御でクイックでスムーズな針動作。
2 in 1表示	一台で2種類を切換表示。 1. ブースト (NA車はバキューム) 2. 水温
ピークホールド	リセット後のピーク値を記憶し表示。
新デザイン	ブースト/バキュームが見やすいデザイン。
簡単装着	故障診断コネクタに差し込むだけで配線・配管作業は一切不要。
気圧補正機能	標高差補正で絶対圧表示から相対圧表示に近似補正が可能。
ステップングドライブ	高精度で信頼性の高いステップングモーター採用。
低価格	本体価格¥18,900で2種類表示のため、1種類当たり¥9,450のコストパフォーマンス。

ヒント 表示開始から表示消灯まで
ECUとの通信上、エンジン始動後の表示開始までとエンジン停止後の表示消灯まで多少時間 (最長 15秒程度) がかかる場合があります。
※最初の製品接続後のみ車種自動判別のため、表示開始まで最長約40秒かかる場合があります。

各表示と用途

1. ブースト (絶対圧表示)

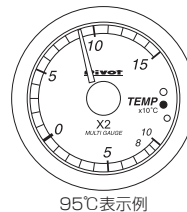
- ▶表示 -100~150Kpa (NA車は負圧のみの表示)
- ▶用途 ●ブーストチェック (ターボ車) ●エコ走行用 [バキューム] (ターボ・NA車)



⚠ ブーストリミッターカットをしている場合は正常に表示できない場合があります。

2. 水温

- ▶表示 -40℃~150℃
- ▶用途 ●オーバーヒート ●暖機チェック など



3. ピークホールド

- ▶用途 ●瞬間的な最大ブーストチェック (ターボ車) ●最高水温チェック

オープニングデモ

オープニングデモの針の動きはマイナス方向に小刻みに複数回動き、その後最大値を指し、現在の表示項目に移行します。

イルミ (文字板照明)

動作中は常時点灯状態ですがLEDのためクルマへの負担や寿命には影響ありません。

配線接続方法

準備 作業を始める前に付属の "対応車種表" で取付位置をご確認ください。

エンジン始動中にOBD2コネクタを車輛側コネクタに差し込みます。

1 キースイッチ ON (エンジン始動)

※一部の車種で、エンジン停止中に差し込みを行うと表示しないまたは誤表示する場合がありますので、エンジン始動中にコネクタ接続を行ってください。また、バッテリー端子を外した場合は、一度コネクタを抜き、差し込み直してください。

2 カプラーコードを配線する

故障診断コネクタへ差し込む

【参考】OBD2コネクタの取扱注意

注意 抜き取り時にコードを持って引き抜くと断線の恐れがありますので絶対に行わないでください。

凸部が握れない場合
車種により、コネクタが奥まで入り凸部が握れない場合があります。

インシュロックの輪の部分を持って引き抜く。

製品の固定

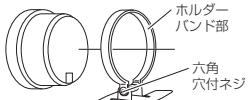
車内の見やすい場所へ取り付けます。

各部の名称

A. バンドホルダーを使用する

強度のある場所へ両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュ上など)

1 バンドホルダーの取り付け



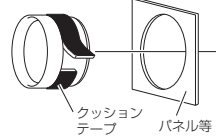
- ホルダーバンド部へメーターを差し込みます。
※差し込めない場合は六角穴付ネジを多少ゆるめてバンドを広げてください。
- 六角穴付ネジを多少締め仮固定状態にします。

2 クルマへの取り付け

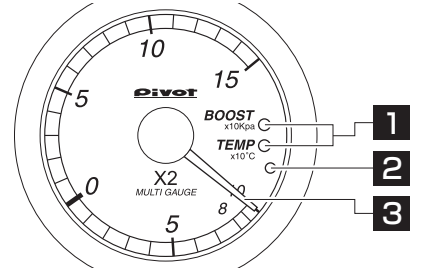


- 取付場所にピッタリ付くようにスタンドを曲げます。
- 取付場所の油分や汚れ等を確実にキレイにします。
- 両面テープにて貼り付けます。
※貼り直しは粘着力が低下するため行わないでください。

B. パネルなどに埋め込む



- メーターの首振り角度を決め、六角穴付ネジを両側とも確実に締め込んで固定します。
- メーターの根本にクッションテープを巻き、直径60mmの穴に圧入状態で差し込みます。



- モードランプ** 使用しているモードを表示。
- スイッチ** モード切り換えや各設定用。
- 針** 現在の数値や設定を指します。

基本操作方法

オープニングデモ終了後各表示をします。

各表示切換

1 キースイッチ ON (エンジン始動)



ブースト (リアル)
BOOST ランプ点灯
例) -70Kpa
※NA車は負圧のみの表示

3秒間操作なし

ブースト (ピーク値)
BOOST ランプ点滅
例) 85Kpa
※リセット後のピーク値を表示

2 オープニングデモ

水温 (ピーク値)
TEMP ランプ点滅
例) 98℃
※リセット後のピーク値を表示

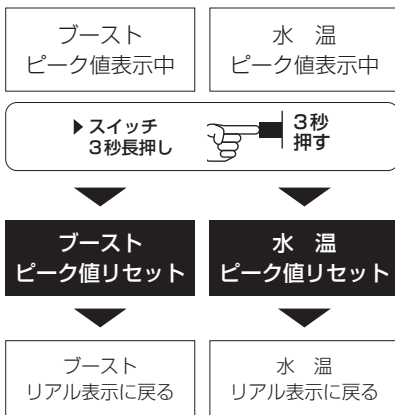
3秒間操作なし

水温 (リアル)
TEMP ランプ点灯
例) 60℃

3 スイッチ押すごとに表示切り換わり



ピーク値のリセット方法



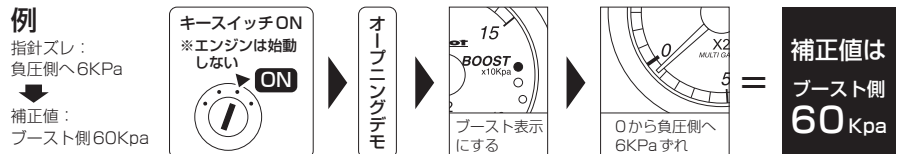
※各ピーク値はキー OFF でも記憶されています。
※バッテリーやコネクターを外すと各ピーク値はリセットされます。

気圧補正機能 (通常は必要ありません。)

本製品の圧力表示は車輪センサーによる絶対圧表示で標高差を含む理想的な計測で補正は不要ですが、下記の場合は補正を行ってください。

- 標高差による0位置ズレを合わせる。
- 機械式 (相対圧) メーターとのズレを合わせる。

1 補正値を確認する



2 補正方法



故障と思われるまでに

表示不可になっている一部車種でブーストの表示が出る場合がありますが、正常な数値ではありませんのでご注意ください。

症状	原因	対策
キースイッチ ON で動作しない。	3Pカプラー、OBD2コネクターの接続不良。 対応外の車種に取り付けている。	3Pカプラー、OBD2コネクターの接続状態を確認する。 対応車種表をご確認ください。
誤表示する。	エンジン停止中にOBD2コネクターを差し込んだ。 バッテリーを交換、またはマイナス端子を外した。	OBD2コネクターを抜き、エンジン動作中にコネクターを差し込む。
表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正や他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
ブースト圧表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品のブースト計は絶対圧式で、相対圧式のメーターとは表示がズれる場合があります。(⇒基本操作方法"気圧補正機能"参照)	